

区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 再提案 (R3・8・19 第149回総会；大町市)		
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input type="checkbox"/> その他 ( )	分野	<input checked="" type="checkbox"/> 総務文教 <input type="checkbox"/> 社会環境 <input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 危機管理建設
要望先	<input checked="" type="checkbox"/> 国	担当省庁	文部科学省
	<input checked="" type="checkbox"/> 県	担当部局	教育委員会 義務教育課
	<input type="checkbox"/> その他	名称	
件名	6 学校の再編・統合に伴う加配教員の拡充について		
提案市	長野市		
提案要旨	<p>県の「少子・人口減少社会に対応した活力ある学校づくり支援事業」により、統合前年度から統合翌年度までの3年間、中核教員を配置していただいているが、配置年度や人数について、実情に応じて柔軟に対応・支援していただきたい。</p> <p>また、この加配について、県から国に対してもご要望いただきたい。</p>		
提案理由	<p>本市では、地元要望に沿って統合時期が決定し、閉校となる学校で卒業を迎えられない学年の児童には、中学に進学する際、経過措置として、統合後の中学校も選択を可能とする指定校の弾力化により対応しているところである。この措置により、閉校となる学校を選択しない児童がいる場合には、生徒数が著しく減少することで学級数が減少し、配置される教員も減員となるため、学習保障の観点から、市費で独自に教員を加配している。</p> <p>このような状況から、統合前年度から統合翌年度までの3年間とする中核教員の配置を、市町村の実情に応じて柔軟な対応を要望するとともに、統合に伴い2学級規模または1学級規模になる中学校に対し、学習保障の観点から、配置人数の加配についても特段の配慮を願いたい。</p>		
現況及び課題等	<p>本市では、令和4年度末には信更中学校、令和5年度末には七二会中学校を閉校し、近隣の中学校へ統合する予定であることから、令和4年度から信更中学校において中核教員を配置いただく予定である。</p> <p>統合に当たり、閉校する中学校で卒業を迎えられない学年の児童は、閉校に伴う要望により、中学に進学する際、統合後の中学校も選択できることとしているため、統合前の2年間は、複式学級編制となることで学級数が減少し、配置される教員も減員となる可能性が高い。</p> <p>今後、再編・統合に伴う学級数の減少も想定されることから、統合前の2年間、閉校となる学校に在籍している生徒の学習を保障し、不安なく移行できるよう、教職員体制が整えられることを要望する。</p>		
関係法令			